

沼田市民生委員児童委員協議会

団体の主な活動

- ① 一人暮らし高齢者・高齢者世帯、障がい者、母子家庭の訪問支援
- ② 各種証明書類（福祉関係）への押印
- ③ 介護関係に係る社会福祉協議会との連絡調整 相互の連絡
- ④ 地域福祉事業である「いきいきサロン」及び「一人暮らし交流会」の主催
- ⑤ 充て職（学校評議委員など）の推薦依頼、各種行事（運動会や入学式・卒業式など）出席依頼
- ⑥ 群馬県の6. 1調査

① 活動を行う上で困っていること、改善すべきこと

- ① 民生委員の高齢化（高齢者が高齢者を見守る状況がある）
- ② 精神的な負担
- ③ 民生委員児童委員のなり手不足
- ④ 民生委員の身分と活動費の支給
- ⑤ コロナ禍による訪問件数の減少
- ⑥ 多岐多様な問題（DV、幼児虐待、大人や子どもの引きこもり等）への対応

② 活動を行う上で工夫していること、努力していること

- ① 見守りや訪問の工夫
- ② 情報共有
- ③ 2人一組での対応
- ④ 民生委員の身分を証明するものの携帯

沼田市消防団

団体の主な活動

- ①非常時…消火活動、水防活動、搜索活動
- ②通常時…操法、点検、年末警戒、出初め式、広報活動、水利点検、地域行事へ協力

① 活動を行う上で困っていること、改善すべきこと

- ①団員のなり手がいないため任用年数が長期化…団員入れ替わりのペースが鈍化
(原則55歳までの任用となっているが、団員が見つからず、地域によっては年齢を超えて任用を継続)
- ②サラリーマン化の進行…日中の活動における人員不足
(仕事に従事している団員が多く、緊急時に現場に直行できる人員が不足することもある)
- ③コミュニケーション不足…コロナ禍で活動制限、現場活動にも影響

② 活動を行う上で工夫していること、努力していること

- ①団員の加入促進対策として、特定の業務のみを行う部隊を創設（女性消防隊…広報活動を主に担う）
- ②コロナ禍で活動が制限されている中でも、資機材の点検や現場想定訓練を実施し、非常時に備えている。

沼田市ボランティア連絡協議会

団体の主な活動

沼田市内のボランティア団体の連携とその機能の向上を図り、地域に根ざしたボランティア活動並びにふれあい・交流のまちづくりを目指す活動を行っている。

ボランティア連絡協議会のイベントとして「ボランティアフェスタぬまた」を「ごったくまつり」と共同開催し、団体の活動紹介、体験コーナー、ステージ発表などを行っている。

① 活動を行う上で困っていること、改善すべきこと

- ① 現在42団体と30名の個人会員が登録しているが、団体によってはなかなか後継者が見つからず、バトンタッチが難しい。
- ② 登録団体のボランティア活動内容が多種で、協議会としての活動は、情報交換や、交流が主なものになっている。

② 活動を行う上で工夫していること、努力していること

- ① 事務局（社会福祉協議会内）からいろいろな情報提供をしてもらい、個々の団体の活動を進めるよう努める。
- ② 利根沼田地域のボランティア協議会により、持ち回りでの研修会を開催する。
- ③ 群馬県ボランティア連絡協議会に加盟しており、県によるボランティア研修会への参加等により、情報収集をしている。